

JWFファンド2020 完了プロジェクト概要

2. Kisega村の湧水保護設備の建設(ウガンダ)

- 実施団体: Multipurpose Training and Community Empowerment Association (#056)
- プロジェクト予算: 1,644.7ドル (JWFファンド946.14ドル、団体101.73ドル、受益者404.69ドル、その他団体191.51ドル)
- 受益者数: 1,674人
- 実施地の水問題:

対象の小学校の生徒たちとKisega村の住民たちは、小学校から200M離れた場所にある管理されていないため池から水を汲んでいる。動物たちもこの池の水を飲んでおり、安全でなく汚染されている。このため、生徒や住民たちは腸チフスやトラコーマ、下痢症にかかり、学校を中退する生徒もいる。また、ため池に誤って転落する生徒もいる。



ため池から水を汲む生徒



ため池から水を汲む女性

- 主な活動内容: 湧水の保護、プロジェクト事前説明、水と衛生に関する啓発活動、水利用者委員会の設立とメンバーへの維持管理トレーニング、水質検査等
- 持続性: 建設した湧水保護設備の維持管理は水使用者委員会が行う。

これらの活動により、飲み水の水源が改善され、村と学校の生活環境の向上が期待される。

JWFファンド2020 完了プロジェクト概要

2. Kisega村の湧水保護設備の建設(ウガンダ)

実施中の様子



プロジェクト説明と
水と衛生に関する啓発活動



湧水保護設備の建設

現場からの声(抜粋)



Bwenze Junensiさん
(43歳、水利用者委員会の議長)

MTCEAとJWFの支援に感謝します。委員会の議長に指名された時、とても嬉しかったです。プロジェクト実施期間中、作業する人々のための食事を用意するために村の女性たちを集めました。

実施後の様子



完成した湧水保護設備



水を飲む村男性



Noah Henry Kabuseraさん
(23歳、建設した設備の技術管理者)

この地域に住んでいるからこそ、プロジェクトに感謝します。安全できれいな水を手に入れることがどれだけ大変だったか分かるからです。今はこの湧水保護設備を技術的に管理すること、人々に病気を防ぐために水を汲む容器をきれいに保つように勧めることを誇りに思っています。